
ふくいミュージアム

1984. 7. 1

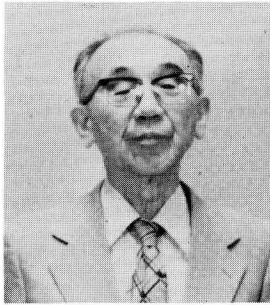
No. 5

福井県立博物館

県博開館！



福井県立博物館



ごあいさつ

福井県立博物館長

杉原 丈夫

県民のみなさまから、久しく待ち望まれていた福井県立博物館が完成し、このたびここに開館する運びにいたしましたことは誠に喜びに堪えません。

県立博物館の建設準備は、昭和53年に策定された第3次福井県長期構想で取り上げられ、以来整備を進めていたものです。当初、建物も展示資料も無くまったくゼロからの出発で、前途の難渋が予想されました。しかし、各界各層の県民のみなさまから厚いご指導とご支援をいただきまして、今日の開館に到達することができました。ここに深く感謝申し上げます。

本県は、豊かな自然と長い歴史、伝統に恵まれ、自然・人文両分野にわたる貴重な資料が数多く残されています。県立博物館は、これらの資料を収集・保管し、調査研究を加え、さらに展示・解説して、県民のみなさまに郷土の過去と現在を理解していただき、また未

来への思索を深める「学習の場」を提供しようとするものであります。

こうした活動をとおして、郷土に対する愛着や関心を更に促すことができれば、県立博物館は魅力ある地域社会建設への創造力の原点として大きな役割を果たすことができるものと期待しております。

今後、県立博物館が本県における教育・文化の中核的施設として、「活力どうるおいのある文化のふるさとづくり」に大きく寄与するよう念願するものであります。

わたくしども職員一同は、この恵まれた施設と環境を十二分に活かして、博物館の使命達成のため力を尽したく存じております。

どうか県民のみなさまには気軽にどしどしご利用いただきますとともに、今後内容の充実になお一層のご支援・ご協力を賜わりますようお願いいたします。

館長略歴

昭和16年、京都帝国大学文学部哲学科卒業後、福井高等工業学校、福井大学教育学部、岡山大学文学部の各教授を歴任。昭和54年福井県立図書館長。

県立博物館落成記念式



テープカット

4月7日 快晴。

午後1時より、県立博物館の落成式が挙行されました。まず、青空の下、博物館中庭において、中川県知事、池端県議会議長、熊谷参議院議員、大武福井市長、吹田県教育委員会委員長、杉原県立博物館長の各氏によりテープカットが行なわれ、つづいて落成式の会場を館内講堂に移しました。式は、知事、教育委員会委員長の挨拶の後、県議会議長をはじめ来賓各位より次々と祝辞が述べられ、最後に博物館長の挨拶をもって無事終了しました。

このあと招待者は、館職員の案内で常設展示、特別展示を見学しました。



入場



式辞



案内

開館記念特別展「福井の文化財」開催 4月8日～5月6日

開館と同時に開かれた特別展「福井の文化財」展は、日頃県民の目にふれる機会の少ない、郷土にゆかりのある優れた文化財を一堂に集めて展示し、本県の歴史と文化財に対する正しい理解と認識を深めることを目的に企画されたものです。

展示資料の中では、県内出土の銅鐸が東京などから里帰りした他、社寺の宝物が多数を占め、観覧者の注目を集めました。(入館者14,550人)



出品目録

区分	番号	資料名	員数	所蔵者	時代
考古	1	大石2号銅鐸(重文)	1点	個人	弥生
	2	明大1号銅鐸(伝大石3号銅鐸)	1点	明治大学考古学陳列館	生
	3	向山(堤)銅鐸	1点	東京国立博物館	生
	4	向笠銅鐸	1点	国立歴史民俗博物館	生
	5	新銅鐸	1点	東京国立博物館	生
	6	有鈎銅釧	5点	東京国立博物館・鯖江市資料館	弥古
	7	向出山1号墳出土遺物	5点	敦賀郷土博物館	墳
	8	二本松山古墳出土遺物	3点	東京国立博物館	古墳
	9	獅子塚古墳出土遺物	5点	東京国立博物館	古墳
	10	深山寺経塚群出土遺物	29点	敦賀市立歴史民俗資料館	平安
工芸	11	太刀(重文)	1口	藤島神社	鎌倉
	12	太刀(重文)	1口	藤島神社	鎌倉
	13	刀	1口	藤垣神社	南北朝
	14	脇差(重文)	1口	熱田神宮	江戸
	15	刀	1口	個人	江戸
	16	太刀拵	1口	福井県立博物館	江戸
	17	小田籠手	1対	東京国立博物館	江戸
	18	金銅宝相華文磬	1面	滝谷寺	平安
	19	金銅孔雀文磬	1面	大善寺	鎌倉
絵画書跡	20	紙本著色 南蛮屏風	2曲1隻	大安寺	江戸
	21	紙本著色 源氏物語屏風	6曲半双	永林寺	江戸
	22	絹本著色 主夜神像(重文)	1幅	西福寺	高麗
	23	絹本著色 阿弥陀如来像(重文)	1面	西福寺	南宋
	24	奥の細道(重文)	1冊	西村弘明氏	江戸
	25	後花園天皇宸筆御書状	1幅	福井県立博物館	江室町
彫刻	26	木造虚空蔵菩薩坐像	1軀	神宮堂	平安
	27	木造薬師如来立像	1軀	薬師神社	平安
	28	木造千手観音立像	1軀	神明神社	平安
	29	木造聖観音菩薩坐像(重文)	1軀	長慶院	平安
	30	木造追儺面(重文)	3面	加多志波神社	鎌倉
	31	能面 尉	1面	須波阿須疑神社	南北朝
	32	能面 天神	1面	須波阿須疑神社	室町
	33	能面 若い女	1面	須波阿須疑神社	室町
	34	能面 中年の女	1面	須波阿須疑神社	室町
	35	能面 三番叟	1面	立石重忠氏	南北朝
	36	能面 翁	1面	立石重忠氏	室町
	37	能面 父尉	1面	立石重忠氏	室町

盛況！ 開館記念講演

戦国乱世の人間像

—— 蓮如と朝倉敏景 ——

元東京大学教授

笠原一男氏

「戦国乱世の人間像—蓮如と朝倉敏景—」と題して、元東京大学教授（現放送大学教授）笠原一男氏の講演が4月14日午後1時半から2時間、県立博物館講堂で開かれました。8日にオープンした博物館の開館記念講演として開かれたもので、笠原氏は、戦国乱世に生まれた蓮如、朝倉敏景の二人の英雄が乱世の生き方をどのように民衆に教えたかを歴史を通して説きました。会場には350人が詰めかけて熱心に聞き入っていました。

講演要旨

日本の歴史は2,000年、この中でいろんな悲しい乱世があった。乱世とは、価値観が180度変わる時代の転換期で、平安から鎌倉、応仁の乱を境とした室町から戦国、江戸から明治、近代から現代のこの四つの時期が乱世で民衆にとって一番悲しく、生きることの厳しい時代であった。

乱世ほどすばらしい指導者を民衆は求める。日本では、いずれの乱世にもすばらしい英雄、指導者が複数で生まれている。

戦国乱世で生まれた英雄は、宗教の世界では、第8代の法主蓮如で、政治の世界では朝倉敏景である。

敏景は、応仁の乱の立て役者で、戦国大名として一番早く領国を形成し、一番早く戦国家法（敏景17ヶ条）をつくった。17ヶ条をよくあの段階でつくったと思うが、内容を見ると、朝倉家が五代で終わらざるを得なかったと予測される。すなわち、家臣団や神社仏閣には心を使っているが、越前の民衆に対する心遣いは、一行も出ていない。これが、致命的であった。また、狭い谷に城館を構えたことや、蓮如に吉崎での布教を許したことも朝倉家滅亡を早めることとなった。



一方、蓮如は本願寺の招かれざる客として生まれたが、親鸞の正統な学問を懸命にやり、また異端の諸派の勉強もした。そして、43歳のとき思わずして本願寺八代目の法主の座についた。蓮如は、民衆に対してどうしたら真宗の教義を説いてわからせることができるかと考え、御文（おふみ）による布教戦術をとり成功し、門徒が増えた。それに対して延暦寺の弾圧などがあり、布教の拠点を北陸の要地、吉崎に変え道場をつくった。そして数多くの御文を書いた。蓮如が、絶えず考えていたのは民衆のことである。そのことは、蓮如が残した十一箇条の壁書を見れば明らかである。

蓮如は、徹頭徹尾、民衆の心をつかんだ。あれほど民衆の心を意識してつかんだ人は、日本民族の中になく、蓮如ほど数多くの語録が残っている宗教者は日本の中にいない。それだけ、蓮如は、周りの人々に影響を与えた。

蓮如と敏景を比較すること自体がおかしいのだが二人は月とスッポン、つり鐘にちょうちんだ。そして、その蓮如が勝負をかけた地、それが吉崎。蓮如を大いに誇りとして結構である。

入館者の声

☆環境・建物について

- 緑に囲まれてとても良い環境で、建物は落ちついた色あい、格調高い感じがします。(W.36.公務員)
- とても静かで良い環境であります。外観はシンプルで良いと思いますが、内装の面で今一つ工夫がほしいと思います。(M.29.会社員)

☆常設展示について

- むかしの物や家や人があって、わたしのわからない事がたくさんあったので、社会の勉強になりました。(W.小学生)
- いろんな模型があって、本当の人や物みたいで楽しかったです。(M.小学生)
- もっと手でさわれるものがほしい。(W.小学生)
- 人間の古代から現代までをミニチュアの作品で見せて、とても親しみ易い。(W38.主婦)
- よく整理されているが、静体的なものばかりであり、何か動く展示物があると嬉しい。(M.27.会社員)

☆ビデオライブラリーについて

- 今までの博物館にない画期的なコーナーだと思います。ただビデオ1台に3,4名しかすわれないので入館者が多いと困ると思います。(M.32.会社員)
- 限られた時間では見尽す事はできません。何度も足を運ばねばと思います。(M.43.主婦)
- いろんな種類のがあって、とても勉強になった。(W.小学生)
- 少し時間が長すぎと思った。(M.小学生)
- アニメの番組を作ってほしい。(M.小学生)

- 各地のお祭りや行事をビデオに撮っておくとよい。(W.32.教員)

☆開館記念特別展「福井の文化財」について

- いろんな物があったので、ふくいには文化財は多いことがわかった。(M.小学生)
- 今まで見たかったものが、一度に見られて良かった。(M.46.公務員)
- 福井県内各地にある文化財を一ヶ所で見える機会は何度でも作ってほしい。

☆最後に

めったにこういう所へ来ないので、いろんなものがあったびっくりした。社会の勉強にとっても役に立ったのでこういう館があるのはよいことだなあと思った。(M.小学生)

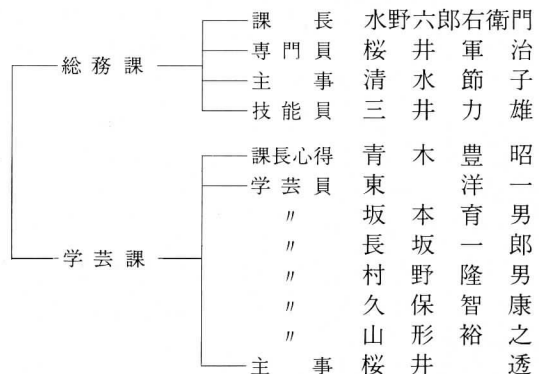
博物館では、来館された方々のご意見を参考に、皆様に親しまれる博物館に一歩でも近づけていきたいと思っています。アンケート以外にも、多くのご意見をお待ちしておりますのでお聞かせ下さい。

博物館入館者数

常設展(4/6~6/23)		特別展(4/8~5/6)	
一般	23,444人	一般	10,507人
大・高	1,228人	大・高	500人
中・小	17,210人	中・小	3,543人
計	41,882人	計	14,550人

博物館の組織

館長 杉原 丈夫 — 副館長 熊谷 真敏 —



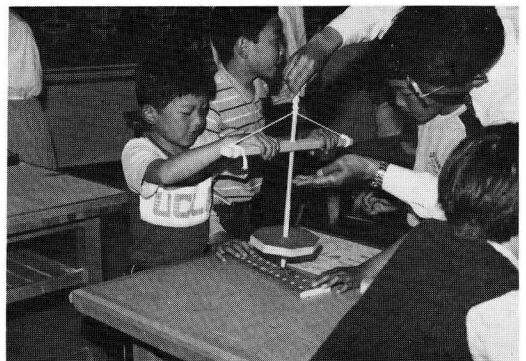
昭和59年度 博物館教育普及事業計画

	名 称	概 要	対 象	時 期	回数
講演会	戦国乱世の人間像	笠原一男（元東京大学教授）	一般	4月14日	
	未定（古代史関係）	岸 俊男（榎原考古学研究所長）	〃	11月4日	
	未定（古生物学関係）	長谷川善和（横浜国立大学教授）	〃	1月	
博物館教室	自然教室—郷土の生いたち	福井県の化石と古環境について	〃	7月～8月	3回
	考古教室—古代の越前若狭	福井県の原始～古代の歴史	〃	10月～11月	5回
	歴史教室—江戸時代のくらし	民衆の支配とくらしぶり	〃	9月～10月	3回
	美術教室—日本美術の流れ	日本と福井県の仏教美術について	〃	12月～2月	6回
	民俗教室—野生植物とくらし	植物の利用技術とくらしとの関係	〃	8月～10月	3回
学 習 会	火をおこそう	摩擦と火打石による発火実験	小学生	5月下旬	
	拓本教室	乾拓と湿拓による拓本採取	小学生他	7月	
	未定（民俗・産業関係）	（内容未定）	〃	9月	
	しめ縄を作ろう	しめ縄の意味を知り、作ってみる	〃	11月	
	未定（歴史関係）	（内容未定）	〃	1月	
観察会他	水生植物観察会	敦賀市池の河内湿原の植物観察	一般	6月	
	渡り鳥の観察会	三国町大堤の冬鳥観察	〃	10月	
	標本採集相談会	夏休みの標本採集のしかたの指導	小・中学生	7月	
映画会	見る機会の少ない優れた学術、記録映画の鑑賞		一般	偶数月と9月	6回

博物館では郷土の歴史などをより深く皆様にご覧いただくために、教育普及事業を行います。上の表のうち、「教室」は講義を主とするもの、「学習会」は体験学習です。内容、実施時期に多少の変更がありますが、実施一か月前に詳細にお知らせします。

なお、この表に記載のものほか、毎週土曜日の午後と日曜日に体験学習室を開きます。各種の資料に手を触れたり、動かしたり、ためすことができます。博物館へ入館された方は誰でも参加できます。

多数の方の参加をお待ちしています。



学習会 「火をおこそう」

ご利用案内



●開館時間

9時から17時まで(但し入館は16時30分まで)

●休館日

毎週月曜日

国民の祝日(こどもの日、文化の日を除く)

年末・年始(12月28日～1月4日)

●観覧料

	個人・団体別	一般	大・高生	小・中生
常設展	個人	200円	150円	100円
	団体(30人以上)	160円	120円	80円
特別展	個人	知事がその都度定める額		
	団体(30人以上)	個人の観覧料の2割引の額		

★先生の引率により教育活動として観覧する児童、生徒は、常設展観覧料が無料になりますので、事前にご相談ください。

資料収集に

御協力下さい……

ふくいミュージアム No. 5 1984. 7. 1

編集 福井県立博物館
 発行 福井市大宮2丁目19-15
 〒910
 ☎ 0776-22-4675(代)
 印刷 出口印刷株式会社